

## ■平成 30 年度 第 3 回 松田町総合計画審議会 意見対応表

番号	意見	対応方針
<b>【基本構想案について】</b>		
1	将来像サブタイトル「笑顔あふれる幸福のまち 松田」を「しあわせのまち」と読ませるのであれば「幸せ」という表記の方がよい。	将来像のサブタイトルを「笑顔あふれる幸せのまち 松田」に変更しました。
2	2 行目の将来像の文言が前回のままなので最新版に修正すること。	ご指摘のとおり修正しました。
<b>【基本計画案について】</b>		
3	「実現したいまちの姿」や「基本目標」が前回計画と同じものが多い、新規追加すべきである。	再度、各課照会をかけ、アクションプログラムの作成とともに、各施策の基本目標等を見直しました。
4	「1-5 高齢者福祉」について、現状では町内に介護施設が少ないため、雇用対策にもなる介護施設の誘致も必要である。	ご意見を踏まえ、アクションプログラムで方針を記載しました。
5	「2. 質の高い学びで次代の子どもを育むまち」というタイトルだが、内容は教育についてより生涯学習が中心でもっと子どもの教育などの内容があるものと期待してみると物足りない。	ご意見を踏まえ、アクションプログラムで具体的な取組みを記載しました。 また、タイトルを「2. 質の高い学びで次代の子どもと文化を育むまち」に変更しました。
6	「2-4 地域文化の創造」で町民文化センターが従来ものから複合施設として脱皮しようとしているということも謳ってほしい。	ご意見を踏まえ基本目標を見直し、アクションプログラムで具体的な取組みを記載しました。
7	「3-1 農林業の振興」にはバイオマスの活用などの話が加わるべきはないか	ご意見を踏まえ基本目標を見直し、アクションプログラムで具体的な取組みを記載しました。
8	「3-2 商工業の振興」では商店街の整備など、町民からの要望が高い買い物できる場所についての書き込みがもう少しあるべきはないか。	ご意見を踏まえ基本目標を見直し、アクションプログラムで具体的な取組みを記載しました。
9	「3-2 商工業の振興」 新松田駅周辺やロマンス通りの整備以前に、一般の町民みなが買い物に困っている現状があるのに「買い物弱者対策として」だけでは不適切ではないか。	ご意見を踏まえ基本目標を見直し、アクションプログラムで具体的な取組みを記載しました。
10	「3-3 観光の振興」 イベントも大事だが年間を通じた観光施策が必要ではないか。	ご意見を踏まえ、イベントだけではなく誘客に向けたその他の取組みも含めて基本目標を見直し、アクションプログラムで具体的な取組みを記載しました。
11	「4. 持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち」の体系はカテゴリーを考え順番を組み直すべきではないか。	ご意見を踏まえ、土地利用⇒基盤整備⇒環境対策⇒上下水道整備の順番に組み直しました。

番号	意見	対応方針
12	「4-3 新松田駅・松田駅周辺の整備」について地域座談会資料で具体的なものが示されているのにそれがここには反映されていない。	アクションプログラムで具体的な取組みを記載するとともに、まちづくり戦略プロジェクトとして、その他の分野の取組みと連携して重点的に取り組んでいくこととしました。
13	「4-6 住宅対策」 町営住宅についても定住対策、人口減少対策として、ということをもう少し書き込んだ方がよい。	各施策・事業に取り組むことで、「実現したいまちの未来」で定住・少子化対策を図ることを記載しました。
14	「4-8 生活排水施設整備」に寄地区の合併処理浄化槽の普及についても言及してほしい。	ご意見を踏まえ、イベントだけではなく誘客に向けたその他の取組みも含めて基本目標を見直し、アクションプログラムで具体的な取組みを記載しました。
15	「5-1 自然環境の保全」のなかで再生可能エネルギーを語るのは少々違和感がある。	「5-1 自然環境の保全」と「3-1 農林業の振興」の両方に跨る取組みとして記載し、アクションプログラムのまちづくり戦略プロジェクトの「地域資源のブランド化プロジェクト」において、両分野が連携しながら木質バイオマスの取組みについて重点的に取り組んでいくこととしました。
16	「5-6 防災対策」「5-7 防犯対策」どちらも最初の書き出しが「自主防災活動」や「自主防犯活動」で役割を町民に押しつけているように感じるので表現を検討してほしい。	ご意見を踏まえ、町民と行政がともに取り組む方向性で「実現したいまちの未来」と「基本目標」を見直しました。
17	自主防災組織の結成を自治会にお願いしても拒否される、住民の防災に対する意識が低い ため町として研修会などの機会を増やしてほしい。	ご意見を踏まえ、「5-6 防災対策」の基本目標を見直し、アクションプログラムで具体的な取組みを記載しました。
18	第5次計画にあった「定住促進プロジェクト」は、第6次計画ではどういう位置づけになるのか。	「定住促進プロジェクト」で位置づけたこれまでの取組みを踏まえ、アクションプログラムにおいて、さらに重点的に取り組むことを明確にした「まちづくり戦略プロジェクト」を位置づけました。

■平成 30 年度 第 3 回 松田町総合計画審議会 その他の意見（会議で回答済）

番号	意見	回答
<b>【団体ヒアリング結果について】</b>		
1	小田急電鉄秦野駅からの回答があるが、新松田駅からはないのか。また、利用者からの意見としてロマンスカーが新松田駅に停車しなくなるという点については記載がないのはなぜか。	小田急の管轄としては新松田駅単独の駅長ではなく秦野駅が管轄しているため、記載上、秦野駅となっています。また、このヒアリングは鉄道事業者として松田町のまちづくりに対しての考えを聞くものであり、ロマンスカーの停車については町としても要望を出しているが、その回答を求めるといったものではないためこのような内容となっています。
2	エネルギーに関して、「足柄エネルギーまちづくり公社」と記載があるが、まだ公社自体はできていない。今後どのようなようになるのか教えてほしい。	寄地区の豊富な森林資源を活用するプロジェクトであり、木材を利用したエネルギー、地域おこしについて事業導入を検討中です。
<b>【基本構想案について】</b>		
3	SDG s について、国連の考えを示すのはいいが、町としてはこれを踏まえどうするかを示した方がよい。	基本計画で松田版としてのゴールを示していくとともに、町民に分かりやすく周知します。
4	人口フレームの目標人口 1 万人の設定が低いのではないか。	土地を有効活用し、富士山などの地域資源を活かし、子どもを産める環境を育てるための取組みを進めることで、まずは目標人口 1 万人を目指したいと考えています。社会増減をいかに抑えていくかが重要であると考えています。